

箕面ビジターセンターだより

2025年
7月・8月
9月号

季刊 箕面ビジターセンターだより NPO法人みのお山麓保全委員会・大阪府 発行

樹液に集まる虫たち クヌギやコナラの樹の材を食べたり、傷つける虫たちが活発になる夏の森では、樹液が出ている木が多くなります。更に気温が高いので、樹液が醗酵して、独特の香りがします。このような樹液にはたくさんの虫たちが集まってきます、樹液に集まる虫といえば、カブトムシやクワガタムシですが、その他の甲虫の仲間や、チョウやハチなど様々な虫たちが集まってきます。虫たちにとって重要な餌資源で、他の虫を追い出すこともあります。



ミヤマクワガタ オス



メス



ノギリクワガタ



ヒラタクワガタ



コクワガタ



カブトムシ



ヨツボシケシキスイ



ヨツボシオオキシイ



カナブン



オオゾウムシ



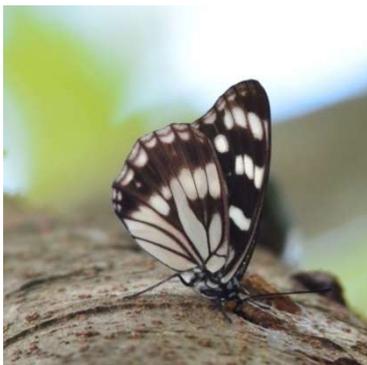
コクワガタとキイロスズメバチ



オオスズメバチ



オオムラサキ



ゴマダラチョウ



スミナガシ



ルリタテハ

木の実に集まる鳥たち

春に花を咲かせた木々は、夏の終りごろに、たくさんの実をつけます。熟した実をつけた木を観察していると様々な鳥たちが訪れます。

アカメガシワの実には脂肪分が多く、それを目当てに様々な鳥たちが集まります。

クマノミズキの実には熟すと黒くなり、実を支える軸の赤い色とのコントラストがよく目立ち、鳥たちが見つけやすいという効果があると言われています。

木の実には、鳥たちに食べられ未消化の種子が排泄されることで、種子を遠くに運んでもらう効果があるとともに、自然落下より発芽率がよくなる例もあります。

ヤマガラは冬に向けて食べ物を地面や樹の幹に蓄える習性があり、食べられなかった種子がそこで発芽するということがあります。



エゴノキやハクウンボクの実を貯食するヤマガラ



アカメガシワに集まる ヒヨドリ コゲラ

オオルリ(メス)

メジロ



クマノミズキに集まる ヒヨドリ メジロ

エノキに集まる イカル

アオゲラ

ドングリに産卵するハイロチョッキリ

夏の林道で、まだ緑色のドングリがついた枝先がバラバラと落ちているのを見かけたことはありませんか？

これはハイロチョッキリという小さな虫がドングリに産卵し、その枝を切り落としたものです。

口吻(口先)のギザギザを押し当てて、きれいに切り落とします。ドングリの中の小さな幼虫はドングリを食べて育ち、蛹になる前にドングリから出てきます。

他にもドングリに産卵するゾウムシにシギゾウムシの仲間がありますが、シギゾウムシは枝を切り落とすことはしません。

産卵して切り落としたクヌギやコナラの枝→



ハイロチョッキリ

夏から秋の初めに咲く花たち

箕面国定公園では、夏のはじめから秋の始まりにかけて様々な花が咲きます。オオキツネノカミソリは、「カミソリ」のような細い葉が枯れたあとに花を咲かせます。ミズヒキは紅白の小さな花が並んで咲く様子が祝儀袋のひも「水引」に似ていることから名付けられました。コマツナギの「コマ」は漢字で「駒」、つまり馬を意味します。これは根が強く、馬を繋いでおけそうだということから名付けられました。コマツナギは根がよく張り、痩せて乾燥した土壌でも育つため、法面緑化にも使われます。可愛い花をつけるのに、一度名前を聞いたなら忘れられないヘクソカズラは、潰すと臭うことから名付けられました。臭い成分は虫に食べられるのを回避するためといわれますが、食草にしたり汁を吸ったりする虫たちもいます。



オオキツネノカミソリ



ゲンショウコ



オミナエシ



センニンソウ



キンミズヒキ



ミズヒキ



ヤブラン



ミヤマウズラ



アケボノソウ



カリガネソウ



コマツナギ



ヘクソカズラ

幼虫の姿が独特なハゴロモ

ハゴロモは一見ガのように見えますが、カメムシの仲間で、針のような口を持ち植物の汁を吸って生活しています。夏には、まるで「羽衣」をまとったような姿の小さな幼虫が見られます。



アオバハゴロモ



ベッコウハゴロモ



ハゴロモの幼虫



箕面のキノコを探そう

箕面ビジターセンター近くの自然研究路を歩いて、キノコを探します。見つけたキノコを講義室で観察(同定)しましょう!

7月6日(日) 9月28日(日) 12:30~15:00ごろ

☆少雨決行(警報発表時は中止)
☆参加費:100円 小学生以下無料
☆定員:20名 ☆協力:講師 ドクターケン

毎月 第2日曜は自然工作教室の日

子どもにオススメ

箕面ビジターセンターの講義室で、小さな木の実などの自然素材を使って、自由に工作を楽しみましょう!

7月13日(日) 8月10日(日) 9月14日(日) 12:00~15:00ごろ

☆雨天決行(警報発表時は中止) ☆参加費:1作品につき300円
☆定員:各回20名 A12時00分~ B13時20分~(いずれも70分)
☆協力:一休さんの自然工作教室

アリジゴクの不思議発見

子どもにオススメ

箕面ビジターセンター展示室周辺のアリジゴクの巣を探して、アリジゴクの不思議を観察しましょう!

7月21日(月・祝) 12:30~15:00ごろ

☆少雨決行(警報発表時は中止) ☆参加費:100円 小学生以下無料
☆定員:15名 ☆協力:箕面VC自然解説友の会

川の中の生き物観察

子どもにオススメ

箕面ビジターセンター近くを流れる川に入って、川の中にある小さな生きもの(水生昆虫など)を観察しましょう!

7月26日(土) 8月11日(祝)・23日(土) 12:30~15:00ごろ

☆雨天中止 ☆参加費:100円 小学生以下無料
☆定員:30名 ☆協力:箕面VC自然解説友の会

夏休み 森の宿題工作教室

子どもにオススメ

夏休みの思い出づくりができる1日に。豊富な自然素材を使って、自由に宿題工作を作りましょう!

7月27日(日) 12:00~15:00ごろ

☆雨天決行(警報発表時は中止) ☆参加費:1作品につき500円
☆定員:各回20名 A12時00分~ B13時20分~(いずれも70分)
☆協力:一休さんの自然工作教室

ルーペや顕微鏡を使って動植物を観察しよう!

園地を歩いて動植物を観察した後に、講義室で、花や葉、シダ(胞子など)、水の中のプランクトンなどをルーペや顕微鏡で観察しましょう!

8月9日(土) 12:30~15:00ごろ

☆雨天決行(警報発表時は中止)
☆参加費:100円 小学生以下無料
☆定員:20名 ☆協力:箕面ナチュラリストクラブ

セミの抜け殻標本作りと森あそび

子どもにオススメ

季節の森遊び(ネイチャーゲーム)。森で自然の宝物を探します。見つけたセミの抜け殻を観察し、標本にしましょう!

8月17日(日) 12:30~15:00ごろ

☆雨天決行(警報発表時は中止)
☆参加費:500円/5歳以上の親子
☆定員:20名 ☆協力:箕面VC森遊びの会



【イベント申込先】NPO法人みのお山麓保全委員会のHP: <https://yama-nami.net/> (検索:山なみネット)で、事前予約をお願いします。

箕面ビジターセンター(政の茶屋園地) 住所:〒562-0001 箕面市箕面1576 Tel:072(723)0649 ■フリーWi-Fi利用できます■

- 開館時間:10時から16時迄(4月から11月の土日祝は9時30分から17時迄)
- 休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日~1月4日)
※施設や駐車場は利用できませんが、入園は可能

- 【電車ご利用の方】※時刻表は変更の可能性がありますのでご確認ください
- (1)阪急箕面線「箕面駅」下車、箕面大滝を經由して徒歩約90分
- (2)阪急バス「箕面萱野駅」乗車、「勝尾寺」下車 徒歩約30~40分
- 「箕面萱野⑧停留所」発車予定時刻(勝尾寺方面行) *午前の時刻を表示
- 【直行】勝尾寺行[30]番バス
平日 9:00、9:30、10:00、10:30、11:00、11:30
土休日 9:00、9:20、9:40、10:00、10:20、10:40、11:00、11:20、11:40
- 「勝尾寺停留所」発車予定時刻(箕面萱野駅方面行) *午後の時刻を表示
- 【特急】箕面萱野駅、千里中央、阪急北千里方面行[29]番バス
平日 13:25、16:35 / 土休日 12:10、13:10、14:10、15:10、16:55
- 【直行】箕面萱野駅行[30]番バス
平日 12:20、12:50、13:20、13:50、14:20、14:50、15:20、15:50、16:20、16:50、17:05
土休日 12:00、12:30、13:00、13:20、13:40、14:00、14:20、14:40、15:00、15:20、15:40、16:00、16:20、16:40、17:05
- 【マイカーご利用の方】
新御堂筋国道423号を北上、白鳥交差点を左折、箕面浄水場を右折、府道豊中亀岡線を北上(約5km)



箕面ビジターセンター
ホームページ



編集後記:箕面ビジターセンターは、市街地より涼しく、爽やかな風もふきます。帽子をかぶって水分補給できるものをしっかり準備して、箕面の森にお出かけください。 NPO法人 みのお山麓保全委員会 Tel/Fax:072(724)3615